

ミスミグループ通信 vol.58

2022年4月1日～2022年9月30日



© Marina Kappos

MISUMI Art Collection

マリーナ・カポス『横長の風景』

解説は裏表紙をご覧ください。

株式会社 ミスミグループ本社

証券コード：9962

ビジネス環境の不確実性に備え、 「攻め」と「守り」の均衡を徹底



代表取締役会長
西本 甲介

代表取締役社長
大野 龍隆

当第2四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染による影響が継続している中、中国ではロックダウンや一部地域における電力制限等により需要が

減速し、日本においても中国ロックダウンの影響を受け、自動車関連を中心に低調に推移しました。また、昨年から続いている各種材料や部品の品薄状況も本格的に改

善されず、自動化関連の設備投資や工場稼働が低下しました。一方、中国を除く海外地域では需要が引き続き堅調に推移しました。

こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、顧客の需要を的確に捉えることに尽力しましたが、中国ロックダウンの影響を強く受けました。

この結果、需要減速の影響を受けましたが、為替効果もあったため、連結売上高は1,881億5千8百万円(前年同期比3.2%増)となりました。セグメント別では、FA事

業は、需要減速がみられた日本や中国を除き、他地域では成長が継続し、売上高は614億1千5百万円(前年同期比4.0%増)となりました。金型部品事業は、米州・欧州で成長が継続した一方で、その他地域で自動車関連の設備投資や工場稼働が低下し、売上高は399億円(前年同期比6.4%増)、VONA事業は、一部商品不足や販売中止の影響が続いている中、アジア・米州・欧州が伸長し、売上高は868億4千2百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

利益面につきましては、新基幹システム導入に関わる費用の増加により、営業利益は268億9千8百万円(前年同期比5.6%減)、経常利益は275億2千7百万円(前年同期比4.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は202億4千万円(前年同期比2.8%減)となりました。

▶ 事業基盤強化を継続し、「確実短納期」の磨き込みに注力

今後の事業環境について、中長期的にはインダストリアル・オートメーション産業における自動化需要の基調は不変であるとみておりますが、足元では、エネルギー・原材料等のインフレや為替変動による影響、グローバルでの景気後退リスクおよび部材不足・部品調達難の長期化など、不透明性が進行しています。こうした見立てのも

と、当社は、地域ごとの競争環境に最適なビジネスモデルの確立に向けて成長性、収益性の高い地域・事業・サービスへの集中を継続してまいります。

通期の連結業績予想については、当社の独自施策や為替効果などを勘案し、2022年5月6日公表の業績予想からの変更はありません。

Top Message

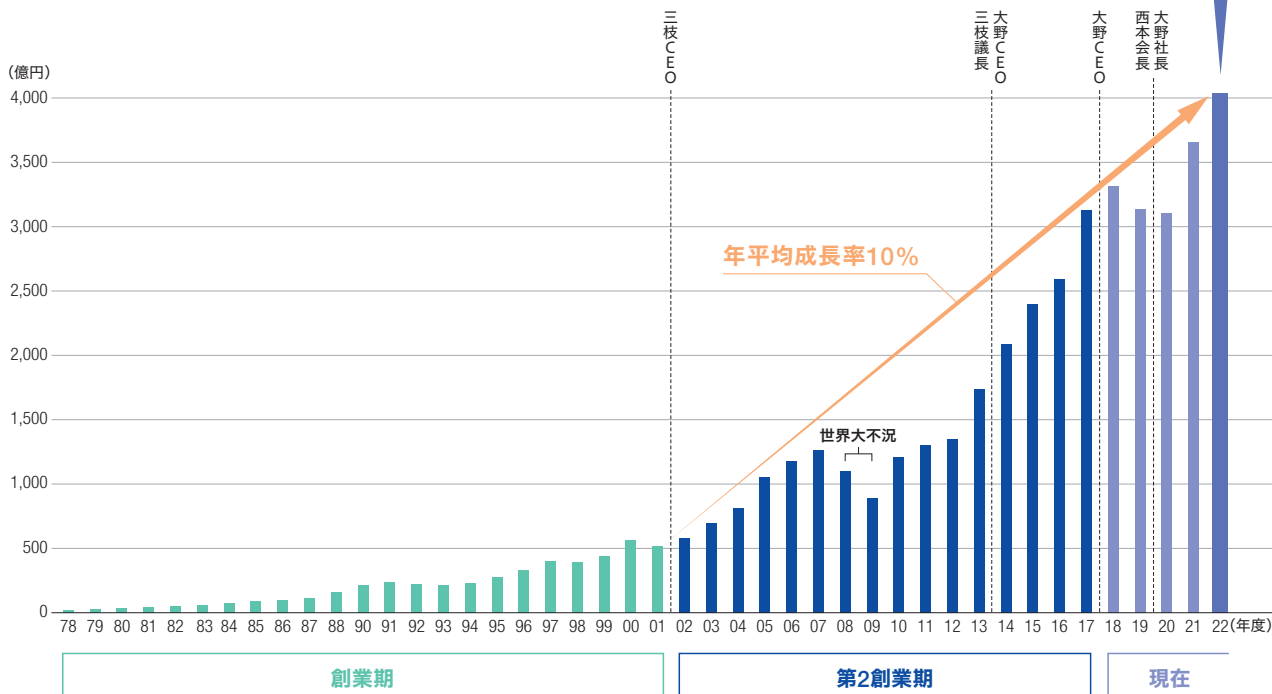
トップメッセージ

今期の主な取り組みとして、メーカー事業では、商品の設計データ（3D-CADデータ）をアップロードするだけで、即時見積もり、最短1日出荷を実現するサービス「meviy」の展開をさらに加速してまいります。これまで

展開していた国内においては引き続き売上・利用者数が伸長しており、機能拡充・開発スピードの加速も図ります。加えてグローバル展開も順調に進んでおり、すでに本格展開が完了した欧州・米州においても日本と同様に

ミスミグループの業績推移

連結売上高



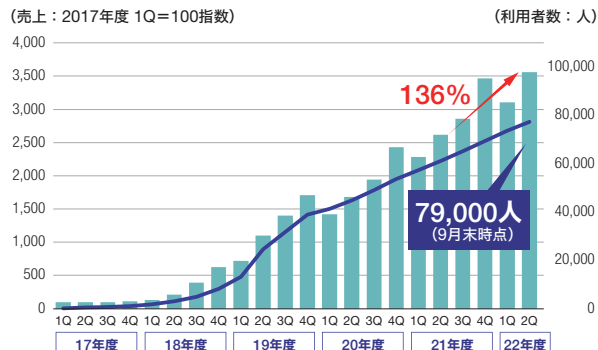
(注) 1989年度は決算期を変更した都合上省略してあります。

お客さまから高い評価を得ています。

流通事業であるVONA事業では、中国発・価格競争力の高い「エコミーシリーズ」の品揃え強化が進んでおり、中国域内や日本、アジアでの浸透加速を図っています。

また、事業基盤の強化に向けて、最新の技術や高い安定性を持つ新しい基幹システムへの抜本的な刷新に取り組んでいます。

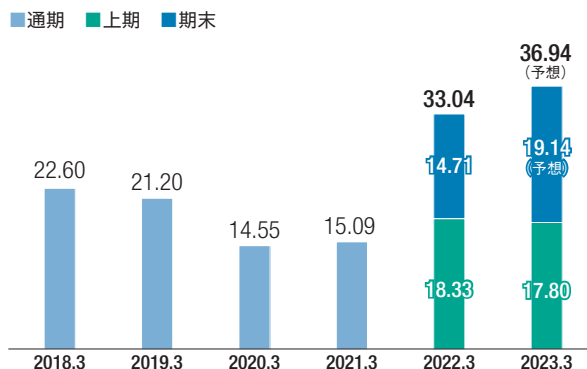
meivy国内売上高・累計利用者数推移



▶ 年間配当金は修正なし

当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案して、株主還元方針を定めており、配当に関しては、配当性向25%を基準に決定しております。これにより、当第2四半期末の1株当たり配当金は前年比53銭減となる17円80銭とさせていただきます。期末配当予想については、通期連結業績予想を据え置いたため、前回予想を58銭上回る19円14銭（前年比4円43銭増）へ修正させていただきます。年間配当金については、従来通り1株当たり36円94銭（前年比3円90銭増）と予想しております。

1株当たり配当金 (円)



IT基盤強化に取り組むー基幹システム全面刷新

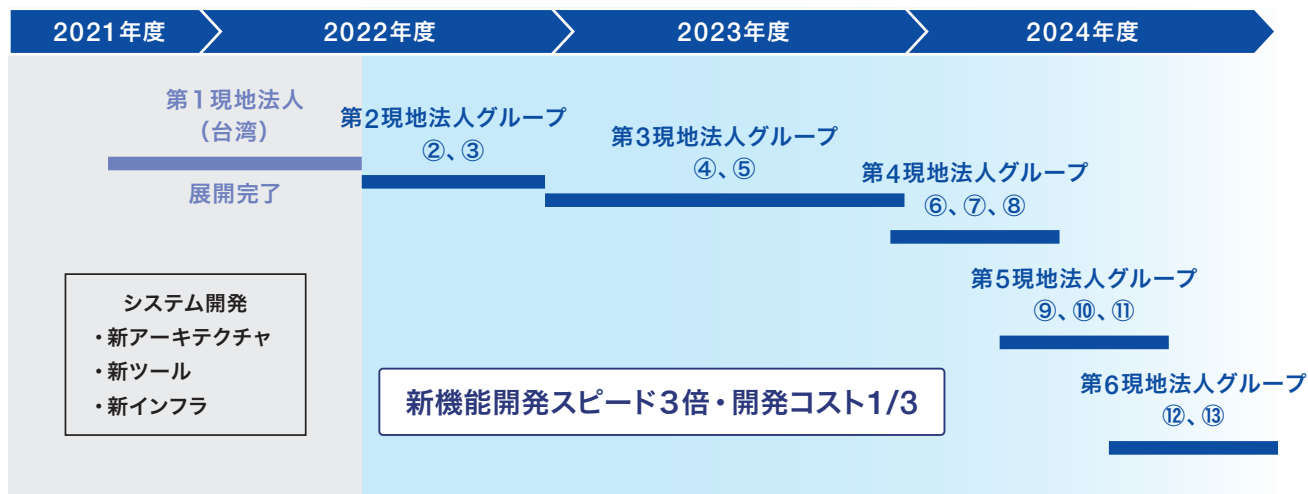
ミスミグループは、インダストリアル・オートメーション産業の顧客に向けて、産業自動化材を中心に提供しています。顧客の多様なニーズやご要望に応えるためには、高度なIT化・デジタル化によってリアルタイムかつ効率的に対応できる仕組みが必要です。

現在、ミスミ事業モデルの心臓部である基幹システムの抜本的な切り替えに取り組んでおり、この新システムは最新の技術や高い安定性を持ち、さらなる変化対応力の向上を実現することが可能となります。

新基幹システムの主な特徴

- ① 顧客－ミスミ－サプライヤー間のサービスや業務を改革し最適化
- ② 複雑なシステム群や各機能を疎結合化するマイクロサービスを採用し、サービスの早回しとコストダウンの両立が可能
- ③ 世界の先進・先端技術を採用し、グローバル先進企業に伍するシステムへと革新的に進化

新基幹システムの全現地法人展開スケジュール（予定）



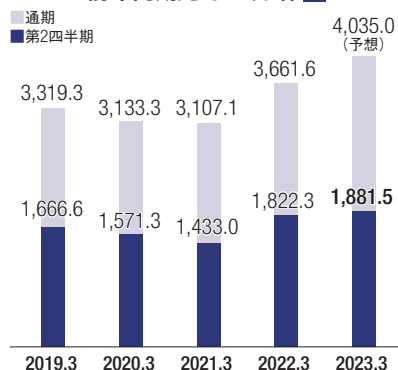
Financial Highlights

連結財務ハイライト

売上高 (億円)

1,881.5 億円

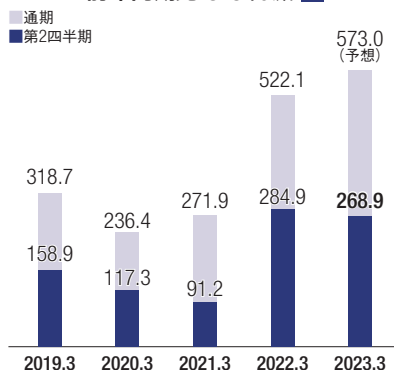
前年同期比 3.2%増



営業利益 (億円)

268.9 億円

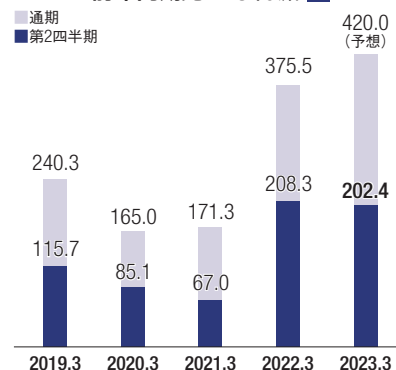
前年同期比 5.6%減



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)

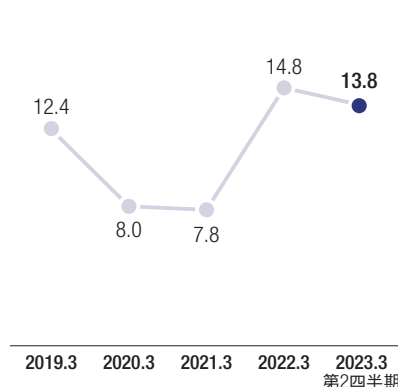
202.4 億円

前年同期比 2.8%減



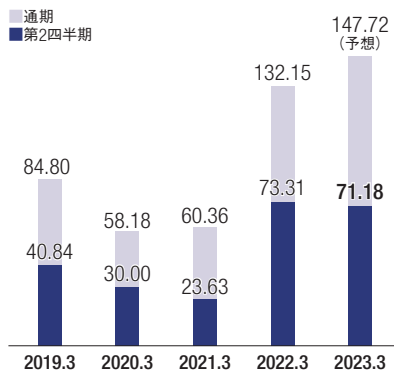
自己資本当期純利益率(ROE) (%)

13.8%



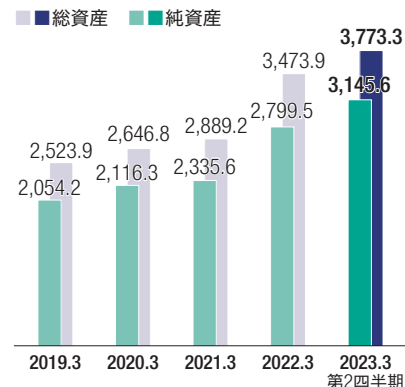
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)

71.18 円



総資産・純資産 (億円)

総資産 **3,773.3** 億円
純資産 **3,145.6** 億円



詳細な財務情報は当社ホームページ「株主・投資家情報」へ <https://www.misumi.co.jp/ir/>

ミスミ IR 検索

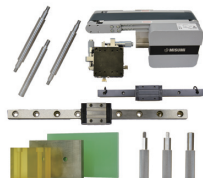


Financial Highlights

連結財務ハイライト

セグメント概況

FA事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売をしています。

金型部品事業



プレス部品、樹脂成型部品を量産する金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・生産・販売をしています。

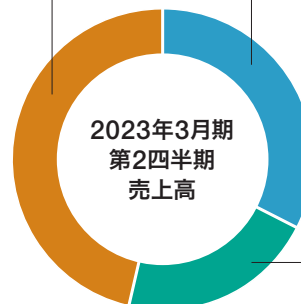
VONA事業



他社商品も含めた自動化関連間接材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業。ミスミブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画しています。

VONA事業
868.4億円
46.2%

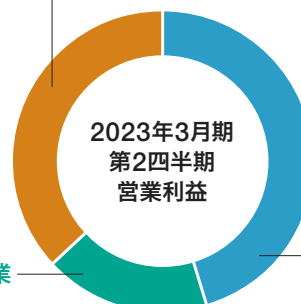
FA事業
614.1億円
32.6%



金型部品事業
399.0億円
21.2%

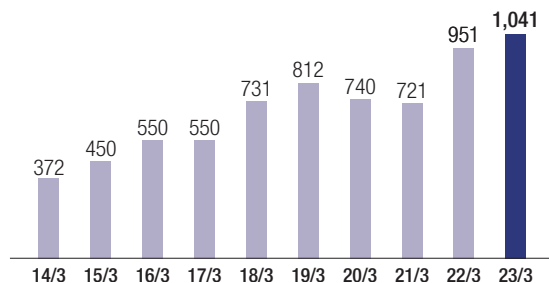
VONA事業
99.2億円
36.9%

FA事業
122.4億円
45.5%

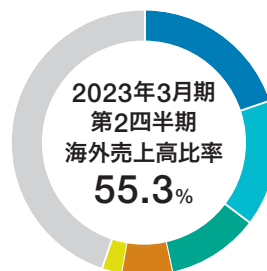


金型部品事業
47.3億円
17.6%

上期海外売上高 (億円)



地域ごとの状況



■ 中国	374.9億円
■ アジア	292.9億円
■ アメリカ	212.8億円
■ ヨーロッパ	116.4億円
■ その他	43.7億円
■ 日本	840.6億円

Corporate Data

会社情報

会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名:MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都文京区後楽二丁目5番1号飯田橋ファーストビル (2023年2月に東京都千代田区九段南一丁目6番5号 九段会館テラスへ移転予定)
資本金	137億5千5百万円
事業内容	グループの経営戦略立案や管理ならびに それらに付随するグループ経営に必要な機能を有する
従業員数	11,842名 (2022年3月31日のミスミグループ連結)
URL	https://www.misumi.co.jp/



ミスミグループトップマネジメント (2022年9月30日現在)

取締役

代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆		
常務取締役	金谷 知樹	常務取締役	清水 重貴	取締役	徐 少淳
取締役(社外)	中野 庸一	取締役(社外)	清水 新	取締役(社外)	栢関 智晴

名誉会長

三枝 匡

経営執行役 統括G役員

代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆		
常務取締役 兼 中亞事業統括 兼 中国企業体 企業体社長	金谷 知樹	常務取締役 兼 日本企業体 企業体社長	清水 重貴	取締役 兼 中国企業体 企業体副社長 兼 ミスミ(中国)精密機械貿易 有限公司董事長兼総経理	徐 少淳
常務執行役員 兼 欧米事業統括	男澤 一郎	CIO・常務執行役員 兼 デジタルトランスフォーメーション システムプラットフォーム 代表執行役員	佐藤 年成	常務執行役員 兼 ID※1企業体 企業体社長	吉田 光伸
常務執行役員 兼 人材・法務プラットフォーム 代表執行役員	佐々木 貴子	常務執行役員 兼 日本企業体 企業体副社長 兼 VONA MRO事業統括	荒川 亨	CFO・常務執行役員 兼 ファイナンスプラットフォーム 代表執行役員	高波 徹

経営執行役

アジア企業体 企業体社長	小林 延好	欧州企業体 企業体社長	恒松 孝一	米州企業体 企業体社長	大洞 龍児
日本企業体 企業体副社長 兼 IE※2事業統括	荘司 秀佳	OST企業体 企業体社長	渡邊 宣公	SCMオペレーションプラットフォーム 代表執行役員	岡本 道明
生産プラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工	サステナビリティ推進担当役員 兼 SXプラットフォーム 代表執行役員	中川 理恵	デジタルトランスフォーメーション システムプラットフォーム 上席執行役員	萩平 和巳
Gateway推進本部 本部長	鷲見 昌丈	日本企業体 執行役員常務 兼 IM※3事業統括	川上 浩一		

監査役

監査役	和田 高明	監査役(社外)	野末 寿一
監査役(社外)	青野 奈々子		

創業者

名誉会長・第2期創業者	三枝 匡
特別顧問・創業者	田口 弘

※1 ID=Industrial Digital Manufacturing ※2 IE=Industrial Electronics ※3 IM=Industrial Machinery

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会・期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00 -17:00)	
同送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場	
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
公告掲載URL	https://www.misumi.co.jp/ir/	

注意事項

業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

住所変更、買収請求その他各種手続きについて

原則、株主さまの口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

お知らせ

会社法改正により株主総会資料が原則ウェブ化されます

今まで



株主総会資料を紙で確認

これから



株主総会資料をウェブで確認

主な
変更点

- ・ウェブサイトへのアクセス方法等を記載した招集通知（以下、通知書面）をお送りします。
- ・株主総会資料の全文はウェブサイトアクセスすることで確認できます。

※議決権行使書は原則、今まで通りお送りします。

開始
時期

2023年3月以降の
株主総会より

インターネットのご利用が困難な株主さまへ

書面で受領するための手続き(書面交付請求)を開始しています。

Q 書面交付請求とは?

インターネットを利用することが困難な株主さまを保護するための手続きです。お申し出いただいた株主さまには株主総会資料を書面でお送りします。**なお、書面交付請求を行わなくても、URL等を記載した通知書面はお送りします。**

Q 書面交付請求の受付期限は?

株主総会の基準日(3月31日)までにお申し出が必要です。

! 一連のお手続きには費用がかかる場合があります。なお、書面交付請求は一定期間経過後に失効することがあります。

Q お手続き方法は?

証券会社にお申し出の場合は、保有銘柄の口座を開設している証券会社へお問い合わせください。
株主名簿管理人にお申し出の場合は、書面での受領を希望される銘柄ごとに申出書面のご提出が必要です。

- ・株主総会資料とは、株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類、連結計算書類を指します。
- ・電子提供制度開始後も株主総会資料を書面でお送りする場合があります。

株主総会資料の電子提供に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505
(受付時間：土日祝日を除く平日9:00~17:00)

ぜひQ&Aもご利用ください。

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



『横長の風景』2002年

マリーナ・カポス (Marina Kappos)

マリーナ・カポスは1972年に生まれ、現在ブルックリンを拠点に活動しています。

彼女は、描く対象が人物であれば表情や性格、風景であれば佇まいや雰囲気を読み取り、それらを建築的な構成力を持って再構築していきます。

この作品は、淡く柔らかな背景の色調、黒く突き刺さるような枝葉のシルエット、そして中央の木蓮とおぼしき花一輪、花が常に上を向き、継続する上昇志向を表すかのようです。明確な輪郭線と鮮明な色面は無機質でクールな印象を与えますが、絶妙な距離関係によって、何故か親近感も保たれています。

株式会社 ミスミグループ本社

〒112-8583 東京都文京区後楽二丁目5番1号 飯田橋ファーストビル
TEL: 03-5805-7037 FAX: 03-5805-7014
URL: <https://www.misumi.co.jp/>

